

コメコン加盟諸国の外国貿易統一 商品品目表について

ひら いずみ ひで き
平 泉 秀 樹

はじめに

- I コメコン分類以外の分類
 - II コメコン分類の沿革
 - III コメコン分類の体系
 - IV SITC分類とコメコン分類の対応関係
- おわりに

はじめに

本稿はコメコン (Совета Экономической Взаимопомощи, 経済相互援助会議) 諸国が, 域内貿易の協力・統計・計算のために採用している『コメコン加盟諸国の外国貿易統一商品品目表』(Единая Товарная Номенклатура Внешней Торговли Стран-Членов СЭВ, 以下『品目表』)を紹介するものである。

世界の経済が東西関係, 南北関係と切り離し難く結びつきを持っている現在, 国と国との, もしくはブロック同士の経済関係を分析するうえで, 貿易統計は基本的統計の一つであることには現在も変わりはないであろう。

さてそのように重要な統計ではあるが, その作成基準, 方法等は作成国によって異なり, 国際比較を行なううえで困難な問題がある。商品分類の違いも, 比較を困難にしている要因の一つである。

現在, 国際的には大きく三つの商品分類・品目表が使用されている。一つは国連によって作成さ

れた国際標準貿易商品分類(Standard International Trade Classification, 以下 SITC)であり, 一つは関税協力理事会関税品目表 (Nomenclature for the Customs Co-operation Council, 以下CCCN)である。さらに第3番目のものが, ここで紹介する『品目表』である。幸いにも SITC, CCCN の両分類は, 双方の永年にわたる統一化の試みによって, 現在では1対1の対応関係があり, 両分類に基づいて作成された貿易統計は, 比較可能となっている。さらに, 関税協力理事会のハーモナイズドシステム (Harmonized Commodity Description and Coding System, 以下 HS) が1988年1月以降導入されることにより, 主要諸国の貿易統計は同一の基準の下で作成されることになっている。

しかし, ソ連邦を含むいわゆる東側諸国では, 1950年代前半以降, SITC, CCCN 分類とは異なる分類体系に基づく商品品目表によって, 外国貿易統計が編集・公表(一部の国にすぎないが)されてきた。ただ, 1960年代以降一部の国は, SITC もしくは CCCN で編集・公表し, 70年代以降ポーランドは, 独自の分類体系に従ってそれを行なっている。したがって, 現在厳密な意味で, 『品目表』の分類に従って貿易統計を公表しているのは, コメコンおよびソ連邦, ブルガリア, ハンガリーのみであるが, この域内貿易の大きな比重を占めるソ連邦の貿易統計を国際比較に取り込むためには, 『品目表』を無視するわけにはいかない

であろう(注1)。

本稿では『品目表』の紹介という性格上、第I節でコメコン分類以外の分類について、その沿革、体系について簡単に振り返ってみる。第II節でコメコン分類の沿革を、第III節でその思想、体系、旧版(第3版)との違いを、第IV節でSITCと『品目表』との対応関係について述べることにする。

(注1) コメコン諸国と西側諸国の貿易統計の国際比較の困難性として、商品分類体系の違いの他に、国内価格形成、貿易価格と国内価格の関係、交換レート適用の問題、不変価格による地域別・商品別データの欠如等々が挙げられている。以上のような問題については、F・L・ブライヤー著 小島康宏訳『共産圏の貿易体系』ペリカン社 1964年/Havlik, P., "The Scope and Structure of Czechoslovak Foreign Trade: Effect of Applying Realistic Exchange Rates," *Comparative Economic Studies*, 第27巻第1号, 1985年8月/ECE, *Economic Bulletin for Europe*, 第37巻, 1985年(「ソ連・東欧諸国の貿易商品構造の統計的考察」[『調査月報』(ソ連東欧貿易会) 1986年4月号] 82~116ページ) 等参照。

I コメコン分類以外の分類

外国貿易が取り扱う商品の分類の統一については、第1次世界大戦前よりその作業が始められており、1910~13年にかけてブリュッセルで貿易統計に関する国際会議が開催され、13年には5大区分と186の項目からなる『国際商品品目表』と国際貿易統計組織に関する特別条約が採択された。

『国際商品品目表』の5大区分を示せば次のとおりである。

- I. 生きている動物 (1~7)
- II. 食料品および飲料 (8~49)
- III. 原料および半製品 (50~98)
- IV. 完成品 (99~182)

V. 未加工の金・銀および金貨・銀貨 (183~186)

そして1925年には22年表が、また37年には35年表が、この分類に従って貿易統計国際ビューローから公表された(注1)。

1927年以降、国際連盟経済委員会付属の専門家委員会は、二つの品目表、すなわち関税品目表と統計品目表を作成した。その後、1938年には、統計専門家委員会の報告書『貿易統計のための最小品目表』(*Minimum List of Commodities for International Trade Statistics*, 以下『最小品目表』)を発表した。これは、上記関税品目表の1937年改訂版を基に作成したものである。これは第1表のような分類体系である。

国際連合の設立(1945年10月)以後、国際的な貿易商品分類作成の努力は、それに引き継がれた。1947~50年にかけて国際連合統計委員会は、『国際連合標準貿易商品分類1950年版』(以下SITC・Oと呼ぶ)(注2)を作成した。これは同年7月の経済社会理事会本会議で採択された。

第1表 『貿易統計のための最小品目表』分類体系

1. 食料品, 飲料, たばこ	区分 1~13
2. 動物性・植物性の油脂および蠟	区分14, 15
3. 化学製品およびそれに類するもの	区分16~19
4. 生ゴム	区分20
5. 木材, コルク樹皮	区分21
6. 紙	区分22
7. 獣皮, 未加工皮革および加工皮革, その製品, 特に例示したものを除く	区分23~25
8. 織物材および織物製品	区分26~29
9. 履物および家庭用日用品	区分30~33
10. 燃料, 照明および発電装置用製品, 潤滑油およびそれに類する製品, 特に例示したものを除く	区分34
11. ミネラル, 非金属およびその製品	区分35~38
12. 貴金属および宝石, 真珠およびその製品	区分39
13. 金属およびその製品	区分40~43
14. 機械, 装置, 付属品, 輸送手段	区分44~46
15. 種々の製品	区分47~48
16. 再輸入製品, 商品の見本, 旅行用品等	区分49
17. 未加工の金・金貨	区分50

(出所) Рябушкин, Т. В., *Международная статистика* [国際統計], モスクワ, Статистика, 1965年, 80ページ。

この SITC・O の基礎は、すでに上述した1938年に国際連盟専門家委員会が作成した報告書『最小品目表』である。

ソ連邦の学者によると、『最小品目表』を基礎に SITC・O を作成する際、その分類体系に大きな変更がなされ、ソ連邦はこの案に反対したことが述べられている。「……あらゆる場合において、部門と加工度の結合はもつとも合理的な結果をあたえる。国際分類の作者たちはこの道を放棄した」、「科学的分類はまず、生産手段と消費財に分解されなければならない。……しかし、この特徴は国連の分類では無視されている」、「……標準商品分類の重大な欠陥、特にそのグルーピングは、外国貿易のみならず、国民経済全体のなかで生じる経済過程を科学的に分析するための可能性を与えない」(注3)。

SITC・O は、1950年代後半には多くの国々の政府によって商品別貿易データ作成分類として、また主要な国際機関の貿易統計報告基準として使用されていた。しかし、ヨーロッパを中心とする多くの国々は、関税分類は、1955年に作成されたブリュッセル関税分類(BTN, 76年以降 CCCN と呼ばれるようになった)に基づいていた。そのため SITC・O と BTN を対応づけることが必要になり、解決策として、1960年に SITC・O と BTN を組み合わせた SITC・R(注4)が作成された。

1960年代後半には、それ以前に比べ貿易量の増加、貿易の地域構造や品目構造に大きな変化が生じたため、69年から74年にかけて改訂作業が行なわれ、75年5月の国連経済社会理事会本会議で新しい品目分類が採択された。これが SITC・R2(注5)である。

一方、関税協力理事会は1973年以降、統計分類の整合のために、CCCN の改訂と HS の開発に

着手した。HS は1985年に完成した。

これに対応して、国連は1981年に HS との対応関係を維持することを目的として SITC・R3(注6)の作成を開始した。これは1985年5月の経済社会理事会で承認された。

(注1) Боярский, А. Я. 他, *Статистический словарь* [統計学辞典], モスクワ, Статистика, 1965年, 42ページ/Рябушкин, Т. В., *Международная статистика* [国際統計], モスクワ, Статистика, 1965年, 80ページ。

(注2) UN, *The 1950 Edition of the United Nations Standard International Trade Classification*, ニューヨーク, 1950年。

(注3) Рябушкин, 前掲書, 83~85ページ。

(注4) UN, *Standard International Trade Classification, Revised*, ニューヨーク, 1960年。

(注5) UN, *Standard International Trade Classification, Revised 2*, ニューヨーク, 1975年。

(注6) UN, *Standard International Trade Classification, Revised 3*, ニューヨーク, 1985年。

II コメコン分類の沿革

コメコンは、第2次世界大戦後の米ソの冷戦を背景とした西側諸国による東側諸国の経済封じ込めに対応して、戦後、人民民主主義諸国として誕生した国々とソ連邦とのより広範な経済協力を実現するために、経済的経験の交換、技術援助の相互供与、原料、食料、機械、設備などの相互援助の供与等を目的として、1949年1月、6カ国(ソ連邦、チェコスロバキア、ブルガリア、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア)によって設立された。その後、1949年2月アルバニア、50年9月東ドイツ、62年6月モンゴル、72年7月キューバ、78年6月ベトナムが加盟した。しかし、1962年12月にアルバニアが脱退し、現在は10カ国が正式加盟している。

コメコンは上記のような設立の趣旨に従ってさまざまな活動を行なっているが、統計の分野における協力もその大きな柱の一つである。1952年にはすでに、コメコンでは最初の方法論的ドキュメント『コメコン加盟諸国の外国貿易取引計算の実施に関する基本原則』が作成されている(注¹)。

1953年には、すでにコメコン加盟諸国の間で『品目表』が使用されていたということがソ連邦の文献にはみえる(注²)。1956年以降の『ソ連邦外国貿易統計年鑑』の序文には、使用している分類が54年に採用されたものであることが明記されている。

ソ連邦、コメコンとも『品目表』を一般には公表していないため、ソ連邦の『品目表』とコメコンの『品目表』が完全に一致しているのか否かわからない。しかし、ソ連邦第3版とコメコン第4版を対比したところ、その思想、体系、コード、商品名称等はほとんど一致しており、両者の違いは、コメコン『品目表』の第3版から第4版への改訂に伴うものであると思われるので、本稿では、ソ連邦版とコメコン版は全く同一なものとなしてある。

ポール・メイラー(P. Marer)によると、1959年3月にコメコン加盟諸国の外国貿易専門家の会議が開催され、60年の貿易統計を作成する際に、統一分類を採用することを勧告した。それを受けて、コメコン書記局が草案を作成し、1960年9月の専門家会議で検討され、62年表の作成以降は統一分類を使用することが正式に採択されたと述べられている(注³)。メイラーが述べているのはおそらく第2版のことであろう。

1969年12月の第14回コメコン統計常設委員会では、第2版の補足・改訂版を71年1月1日以降採用することが決定された。この原案は、コメコン

書記局が作成し、加盟諸国並びにコメコン書記局の提案を考慮して最終的に作成されたものである。ソ連邦第3版の序文によると、商品構成、分類の基本原則とも第2版とは異なっていない。しかし、第2版以降10年の間に、域内貿易の商品構造に本質的な変化があったため、第3版では、扱われている商品の数が著しく増加している。この改訂の内容は、(1)同一商品のコードの置き換え(他のグループへの区分換え)、(2)新たなコードの付加(新商品)、(3)これまでのコードの削除(他のグループへの区分換えによるもの、削除)の3通りに分けることができる。さらに第3版には、「生産的オペレーション」が商品として分類されていることが、これまでとは大きく異なる点である。その内容は第2表のとおりである。

第3版の採用以後、1975年と76年には、若干の補足があった。

1984年には第4版が作成され、85年表以降使用

第2表 外国貿易統一商品品目表第1～9区分に含まれない生産的性格のオペレーション¹⁾

01	特許、ライセンス、ノウハウ
02	設計・調査活動
03	組立工事、建築工事、再建を含む
04	開発に関する総合的技術指導、管理およびサービス
05	修理・修復作業
06	賃貸借および利権
07	加工・仕上げ
08	カードルの技術的養成のための専門家の派遣 ²⁾
09	その他の物的性格のサービス ³⁾

(出所) Министерство Внешней Торговли СССР [ソ連邦外国貿易省], *Единая Товарная Номенклатура Внешней Торговли, Издание 3-е, исправленное и дополненное* [外国貿易統一商品品目表 補足・改訂第3版], Москва, *Международные Отношения*, 1971年, 587～592ページより抜粋。

(注) 1) 第4版では、物的性格のオペレーション(サービス)となっている。

2) 第4版では、「書籍、小冊子、広告物等の印刷」となっている。

3) 第4版では、「……、カードルの技術的養成のための専門家の派遣を含む」となっている。

されている。これは第3版およびコメコン統計常設委員会の各国代表の補足提案に基づいて作成された。この版も第3版同様、分類体系自体には大きな変更がなく、コードの置き換え、新たなコードの付加、旧コードの削除が行なわれている。

(注1) Ежов, А. Н., *Организация статистики в СССР* [ソ連邦の統計組織], モスクワ, Статистика, 1968年, 198ページ。

(注2) Боярский 他, 前掲書, 134ページ。

(注3) Marer, P., *Soviet and East European Foreign Trade, 1964-69*, ブルーミントン, Indiana University Press, 1972年, 309ページ。

III コメコン分類の体系

前節で述べたように、ソ連邦は1949年に SITC に反対の意を表した。それは簡単に言うと、科学的分類に必要な生産手段と消費財への分化や部門分類との結びつきがなく、貿易の分析だけでなく国民経済の分析にも不都合であるということであった。

ソ連邦『品目表』第3版序文には、この分類の思想が述べられている。すなわち「品目表は、経済を指導する人々の実務的な要請に叶うものでなければならぬ。それは計画化と計算の必要性、計画遂行のための適切なコントロールを保証するものでなければならぬ」、「分類は一定の体系を商品品目表に持ち込む。規則正しく作られた分類は、経済過程を研究・分析し、経済活動における欠陥を暴露するために有益である。分類は、計画課題を作成し、その実施に対する評価を行なう際、きわめて大きな助けを与える。商品の規則正しい分類は、計画と実績を検討し、これに関する決定を行なうことを容易にする……」、「分類を作成する際、その基準として経済活動を研究・分析

し、計画化・計算を行なううえで意義のある本質的な特徴を捉えなければならない。商品のグルーピングはさまざまな特徴、すなわち商品の性格(生産手段、消費財)、その産業源泉(工業製品、農業製品、畜産品)、加工度(原料、半製品、完成品)、生産素材によって行なわれる」、「商品グループは社会的生産物の動きに一致して配置される。生産は社会的生産物の出発点であり、消費は終着点である。その際、生産的消費と個人的消費を区別しなければならない」(注1)。

ソ連邦を含む社会主義諸国は、社会主義経済制度が要請する必要に応えるために、SITC や CC CN とは異なる独自の分類を持つ必要があったのである。さてそれでは『品目表』第4版に基づいて、少し詳細にその分類、旧版との違いを見てみよう。

『品目表』第4版は総ページ数575ページの大部なものであり、その構成は、序文5ページ、区分1～9の品目表517ページ、物的性格のオペレーション(サービス)一覧1ページ、付録1:商品説明38ページ、付録2:測定単位とその省略記号、コード一覧2ページ、目次10ページ、その他である。

分類は大区分(1桁コード, 9区分)、中区分(2桁コード, 57区分)、小区分(3桁コード, 322区分)、細区分(5桁コード, 4200区分)、細々区分(7桁コード, 10027項目)から成り立っている。

最下位品目は7桁である。商品名という呼び方は5桁コードの細区分に与えられている。分類構造を例示すると次のとおりである。

大区分1	機械、設備および輸送手段
中区分10	金属加工設備(ループル)
100	金属切削機械(台数/トン)
10001	旋盤(中心)、数値制御プログラム付のものを含む(台数/トン)

1000101 スクリューカッティング旋盤
(台数/トン)

5桁コードの末尾2桁97, 98, 99が、大区分1のなかで与えられているときには、それには共通の名称が与えられている。*** 97:……の組立製品(集成部品, 部品等), *** 98:……の付属品および予備部品, *** 99:その他の……品である。*** 97は第4版で新たに現われたコード, 名称である。

第4版の区分, 項目数を第3表に示しておく。

『品目表』には, ソ連邦の学者たちがSITC分類を批判し, 上述した貿易分析, 国民経済分析に必要とした分類思想が反映している。すなわち生産手段から消費財へ, 工業製品から農業製品へ, 完成品から半製品・原料へと, 規則正しく配置されている。そして上述した分類思想に基づいて, 一見奇妙に見えるが, 金属加工設備ラインや金属加工工業企業設備が一式として品目表に掲載されている。このようなコメコン分類に特有の区分は, 分類の統一化を大きく妨げている部分である(付表1)。

『品目表』と『コメコン加盟諸国の国民経済部門分類』(Классификация Отраслей Народного Хозяйства стран-членов СЭВ, 以下『部門分類』)との関係は, 国連が作成した国際標準産業分類

(International Standard Industrial Classification of All Economic Activities, 以下 ISIC) と SITC との関係に比べ, きわめて密接な関係がある。『品目表』は, 『部門分類』と緊密な関係を持つように作られている。商品分類と部門分類の関係についても, ソ連邦の学者たちは, SITC・O が作成された段階で, 「国際連盟の案と比べても後退している。そこでは部門原則がはるかに一貫していた」と, 実例を挙げて批判し, 一方, 『品目表』と『部門分類』との強い関係を協調している。そして, 『品目表』と『部門分類』の術語を統一するために, 中区分(2桁), 小区分(3桁)の名称がより精確なものとされたのである(註²⁾(付表1, 2, 3 参照)。

次に, 『品目表』第3版と第4版の変化を見てみよう(第4表)。大区分, 中区分には異動はない。商品という名称が与えられている5桁レベルで見ると, 区分9 国民消費工業製品, 区分1 機械, 設備, 輸送手段, 区分4 建設資材, 部品, 区分6 生きている動物, 区分7 食料品生産用原料, 区分8 食料品, 区分3 化学製品, 肥料, ゴム, 区分2 燃料, 鉱物原料, 金属, 区分5 非食用原料, 加工品の順に変化の度合いが小さくな

第3表 『品目表』第4版の分類区分, 項目数

大 区 分	中 区 分 (2桁)	小 区 分 (3桁)	細 区 分 (5桁)	細々区分 (7桁)
1. 機械, 設備, 輸送手段	10	67	1,449	4,919
2. 燃料, 鉱物原料, 金属	9	45	392	922
3. 化学製品, 肥料, ゴム	7	36	601	1,161
4. 建設資材, 部品	3	18	110	202
5. 前に列挙されたものを除く非食用原料, 加工品	9	45	764	1,152
6. 生きている動物	1	7	32	42
7. 食料品生産用原料	3	14	116	185
8. 食料品	6	33	256	667
9. 国民消費工業製品	9	57	480	777
計	57	322	4,200	10,027
物的性格のオペレーション	9			

(出所) СЭВ Секретариат [コメコン書記局], *Единая Товарная Номенклатура Внешней Торговли стран-членов Совета Экономической Взаимопомощи, Издание 4-е, исправленное и дополненное* [経済相互援助会議加盟諸国の外国貿易統一商品品目表 補足・改訂第4版], モスクワ, 1984年, 序文。

第4表 『品目表』第3版から第4版への変化

大 区 分	中 区 分 (2桁)		小 区 分 (3桁)		細 区 分 (5桁)		細々区分 (7桁)	
	加	除	加	除	加	除	加	除
1. 機械, 設備, 輸送手段	0	0	1	0	193	23	1,466	224
2. 燃料, 鉱物原料, 金属	0	0	1	0	13	2	87	5
3. 化学製品, 肥料, ゴム	0	0	1	0	30	11	348	45
4. 建設資材, 部品	0	0	0	0	9	2	49	7
5. 前に列挙されたものを除く非食用原料, 加工品	0	0	1	0	24	2	212	298
6. 生きている動物	0	0	0	0	3	0	6	0
7. 食料品生産用原料	0	0	0	0	9	0	21	0
8. 食料品	0	0	1	0	20	1	138	4
9. 国民消費工業製品	0	0	1	1	63	60	194	149
計	0	0	6	1	364	101	2,521	732

(出所) 筆者作成。ソ連邦『品目表』第3版とコメコン『品目表』第4版との対比である。

っている。特に区分9, 1, 4は10%以上の品目名称が加除された。なお, 5桁品目全体では, 10%強の変化率となっている。

(注1) Министерство Внешней Торговли СССР [ソ連邦外国貿易省], *Единая Товарная Номенклатура Внешней Торговли, Издание 3-е, исправленное и дополненное* [外国貿易統一商品目表 補足・改訂第3版], モスクワ, *Международные Отношения*, 1971年, 序文。

(注2) Академия Наук СССР [ソ連邦科学アカデミー], *Статистика стран-членов СЭВ* [経済相互援助会議加盟諸国の統計], モスクワ, *Наука*, 1973年, 238ページ。

IV SITC 分類とコメコン分類の 対応関係

SITC 分類と『品目表』分類の商品をどのレベルで対応させるのか, という問題は, 東西貿易の商品構造を分析するうえできわめて重要な問題であろう。大まかな商品グループによる商品構造の把握には第5表のような5大区分表が便利であろう(注1)。

しかし, さらに詳細な商品レベルでの対応関係は, すでに見てきたように SITC 分類と『品目表』が, 全く異なる分類思想に基づいて作成されてい

第5表 コメコンと国連の貿易分類にほぼ相当する
商品グループ

項 目	コメコン 貿易分類	国 連 貿 易 分 類
機械, 設備および輸送手段 燃料およびエネルギー その他生産資材 (その他原料と半製品)	1 20~23 2(20~23を 除く) 3, 4, 5	7 3 2, 4, 5 6(61~65を 除く) 0, 1 8, 61~65
食料品および食料品生産原料 国民消費工業製品	6~8 9	

(出所) ECE, *Economic Bulletin for Europe*, 第37巻, 1985年(「ソ連・東欧諸国の貿易商品構造の統計的考察」[『調査月報』(ソ連東欧貿易会)1986年4月号] 82~116ページ)。

(注) 項目を一部訳し直した。

るため, 両者を完全に1対1の関係に対応づけることは不可能である。

ソ連邦では、『品目表』, SITC, CCCNの対応表が外国貿易省付属の景気研究所によって作成されているということがソ連邦の文献にみられる(注2)。

一方, 国連は1965年に『SITC・R とコメコン商品分類の間の予備的対照表』(注3)を作成した。これは1960年版 SITC と『品目表』第2版との対応表であった。表題が示すように, これはあくまでも試論的なものであった。

1970年の第18回ヨーロッパ統計家会議は, 新しい対応表の作成を決定した。この作業は, コメコン

研究ノート

書記局と ECE (Economic Commission for Europe) 事務局の協力の下に行なわれ、1972年にはその第1案が作成された (SITC・R と『品目表』第3版との対応表)。その後、さまざまなコメント、提案を受けて、1978年に改訂第2案が作成された (これは、SITC・R2 と『品目表』第3版——75年と76年の若干の付加を含む——との対応表であった)。この第2案を使用して、1978年のハンガリー・オーストリア間貿易がテストされ、その結果と、関係諸国および国際機関からのコメントに基づいて書記局が最終案を作成・公表することが、81年の第29回ヨーロッパ統計家会議によって承認された。そして1982年に『国際連合の標準国際貿易分類 (SITC)

と経済相互援助会議の標準外国貿易分類 (SFTC) の間の対応表』として公表された (以下『対応表』)^(注4)。

『対応表』は原則として、『品目表』5桁項目を SITC 5桁項目に関連させて作成されている。しかし、『品目表』のある5桁品目がさらに細分され、その各々が異なる SITC 項目に対応しているときは、その細分された項目に対応が成されている。

SITC・R2 と『品目表』第3版の1対1の対応関係を『対応表』に基づいて分析したものが、第6, 7, 8表である。

第6表によれば、『品目表』5桁項目の約8割

第6表 SITC・R2に対応する『品目表』商品数

SITC 区分	『品目表』		
	小区分 (3桁)	細区分 (5桁)	細々区分 (7桁)
0. 食料品および動物、主として食用のもの	0	39	5
1. 飲料およびたばこ	0	6	1
2. 非食用原材料、燃料を除く	0	46	11
3. 鉱物原料、潤滑油およびこれらに類するもの	0	14	1
4. 動物性・植物性の油脂および蠟	0	12	0
5. 化学製品およびこれに関連する製品	0	56	14
6. 原料別製品	0	63	24
7. 機械および輸送設備	1	44	18
8. 雑多な製造品	0	35	24
9. 他の分類に属さない商品および取引品	0	1	0
計	1	316	98

(出所) 筆者作成。

第7表 『品目表』各区分のなかで SITC・R2に対応する『品目表』商品数

大区分	『品目表』区 分		
	小区分 (3桁)	細区分 (5桁)	細々区分 (7桁)
1. 機械、設備、輸送手段	1	44	25
2. 燃料、鉱物原料、金属	0	51	16
3. 化学製品、肥料、ゴム	0	57	15
4. 建設資材、部品	0	11	0
5. 前に列挙されたものを除く非食用原料、加工品	0	43	10
6. 生きている動物	0	1	0
7. 食料品生産用原料	0	17	0
8. 食料品	0	38	6
9. 国民消費工業製品	0	54	26
計	1	316	98

(出所) 筆者作成。

第8表 『品目表』と SITC の間の1対1対応関係

SITC	『品目表』	SITC	『品目表』	SITC	『品目表』	SITC	『品目表』
00111	60103	24722	50007	34131	23003	53353	31124
0115	8000111	2511	50817	3414	2300101	53354	31123
01181	8001201	2512	50501	3510	23101	5413	96201
0121	80004	25181	5050206	4232	84112	54162	56373
0129	80009	2613	51201	4233	84114	5541	96501
0142	80005	26141	51202	4234	84101	56211	34206
04601	82001	26142	51203	4236	84109	56213	34201
04602	8200304	2631	51001	42392	84105	56214	34203
0482	72905	26514	5109904	4241	84106	56215	34205
0483	82004	26591	5109907	4242	84115	56216	34207
05462	83803	2665	51302	4243	84103	56222	34005
05484	72910	26711	51301	4245	57201	56231	34102
05643	84914	2672	51304	4313	30017	56232	34103
05711	83204	26851	59002	43143	56209	56291	35701
05712	83206	2686	51107	43144	57303	56292	34501
05721	83205	2714	3410101	51111	30907	56293	34503
05722	83207	27322	25906	51112	30908	57211	32007
0574	83210	2733	25004	51121	3099928	5851	30607
05751	83203	2734	40913	51125	30420	59211	72302
05752	83302	2741	25006	51132	3110713	59222	59013
0576	83305	2742	24901	51133	3110702	59811	30609
05795	83201	27722	25008	51211	30502	59812	30610
05796	83306	27822	25010	51214	30507	59831	59904
05797	83234	27823	40403	51218	57301	59898	30953
0582	8409902	2784	25001	51234	3042502	6112	59101
05863	72908	27852	25003	51235	30410	6114	53101
05864	72902	27853	25011	51373	30019	61181	5310203
0611	72306	27891	40907	51381	3002006	61183	5310206
0615	72303	27892	25002	51382	30403	6122	59223
0616	84907	27893	25009	51481	72915	62101	35932
0721	72102	27894	24903	51483	3099922	62102	35912
0722	84904	27895	25007	51486	30963	62899	35910
0741	72104	2815	24001	51561	30409	63302	40504
07521	72202	2816	24010	51613	3029916	6341	50202
07522	72208	28791	24004	51614	3099938	6344	50201
07523	72204	28792	24205	51623	3110704	63491	50318
07526	72205	28823	2710106	51624	3110716	63592	50305
08111	58202	28824	2710105	51631	3029901	6411	50601
09141	84201	28825	2710104	52213	3091104	64132	5063302
09149	84202	28826	2710107	52215	30981	64283	97309
09801	8499903	28902	28008	52216	27015	64284	97302
09802	84913	29111	59010	52218	31121	65117	9050105
09803	84901	29115	59017	52222	30001	65121	51403
09807	84910	29191	5900507	52223	30003	65182	9050108
11101	85030	29193	59009	52241	30813	65196	5140102
11213	8501006	29271	55904	52243	30821	65197	9050104
1122	85011	29272	9899904	52244	30811	6535	90202
1123	85020	29292	59908	52252	30101	6539	90204
11241	85004	3221	20002	52256	30824	65601	92003
1213	72610	3223	20201	52318	30251	65603	92001
1222	85103	32312	20202	52391	30818	6571	59233
21191	53110	32313	20903	52392	34814	6572	90905
2223	72006	3330	21001	52393	30924	6574	92004
2231	72008	33412	22302	52394	30925	65752	59206
2331	35002	33522	30302	52395	3029848	65772	90504
23321	35003	33523	30303	5311	31001	65791	59204
24501	20905	33524	30304	53343	3119904	65792	59238
24502	20901	33531	30316	53344	31116	65832	91905
24603	50920	33532	30317	53351	31126	65839	91906
24712	5001110	33542	22912	53352	31117	65891	90403

SITC	『品目表』	SITC	『品目表』	SITC	『品目表』	SITC	『品目表』
65912	40507	69532	1740701	7722	15863	88121	97028
6611	40003	69542	1519913	77321	11390	88122	15970
66131	40906	69543	17602	77323	11172	88129	1599870
66241	40914	69604	97213	77324	11173	88225	97802
66242	40205	69932	92205	77326	15821	88411	96306
66243	40903	69971	26829	77511	97034	88421	96307
6631	17703	7112	11003	77512	97031	88512	9701103
6643	40101	71311	1930503	7752	97005	88523	1710699
6648	92903	71319	19397	7753	9702122	88524	1710612
66492	15828	71331	11022	77572	9702115	8922	9740402
66511	94299	71332	11018	77584	9702105	89242	9740404
66512	9720902	7144	1930505	77585	9702111	89281	9740408
6664	9410101	71488	11029	7761	15826	89284	9740409
6712	26001	71881	11013	7762	15813	89285	97403
67131	26838	72122	18116	7764	15866	89286	9740403
67132	26202	72131	18164	7768	15864	89289	97499
67161	26101	7223	18003	77822	97109	8941	97023
67162	26102	7233	15410	77885	17110	89425	9899920
67241	26301	72341	15408	7841	18001	89522	98007
6731	26410	72344	1280402	78531	97008	89523	98002
67324	26429	72599	1519878	79191	1909907	89591	98012
67326	26408	72642	15708	7921	19318	89594	98003
6744	2641101	72699	15798	79281	19302	89603	98902
67453	26430	72719	1400198	7933	19291	89604	97405
67454	26427	72729	1401398	79381	19210	89605	98401
6781	26608	72843	143	81243	9710801	89823	97510
6783	26604	73616	10028	82191	95002	89829	9759999
6784	26606	73617	10016	82192	95001	8989	59903
6793	26404	73618	10029	8424	91015	89931	98906
67941	26002	73623	10326	8432	9100502	89932	98908
6811	28002	7368	10033	8435	91010	89934	92203
68211	2700101	7412	1230108	84711	91904	8994	92904
68324	2720906	7432	15598	84713	92005	89984	9220109
68426	2720599	7439	1509824	84714	5922003	89986	9299904
68522	2720801	74425	13307	84721	92902	89991	59102
68631	2720703	74526	1790298	84821	59911	89992	97713
68634	2720799	74999	15950	84832	91235	89993	92905
68913	2710212	7511	15930	84841	9170101	89997	9720901
68991	2709001	75123	15933	87103	1710401	89998	1931204
69120	2730710	75911	1594830	87104	1710402	9710	28001
69243	26701	75919	1594845	87201	1720440		
69312	1132003	76481	15827	87203	9702125		
69313	1132001	76491	1589802	87452	98911		
6932	26806	76492	1589803	88111	97013		
69403	2739906	77122	11144	88119	9701404		

(出所) UN; ECE, *Correspondence Table between the Standard International Trade Classification of the United Nations (SITC) and the Standard Foreign Trade Classification of the Council for Mutual Economic Assistance (SFTC)*, ニューヨーク, 1982年より著者作成。

が SITC の 4 桁もしくは 5 桁項目に 1 対 1 の対応関係を持っている。また第 7 表によれば、『品目表』大区分 8, 7, 2, 9, 4 は、当該 5 桁項目の約 10 倍以上が、SITC 項目と 1 対 1 の対応関係を持っている。特に大区分 8, 7 は 15 倍以上となっている。

なお、SITC 分類によるデータを『品目表』データに変換する対応表は、1988年現在、まだ作成・公表されていない。

(注 1) この 5 大区分は、コメコン諸国統計年鑑や各国の統計年鑑(たとえば、チェコスロバキヤ貿易統計年鑑)でなされている 5 大区分とは若干異なっている。東側文献 (Pleva, J., "Some Structural Pro-

blems of the Czechoslovak Foreign Trade," *Czechoslovak Economic Paper*, 第7号, 1966年, 33ページ)によれば、『品目表』5大区分とSITC分類の対応関係は次のように理解されている。

コメコン分類	SITC分類
I. 生産用の機械, 設備および工具: 消費財を除く	7
II. 燃料, 鉱物原料, ゴムを含む化学製品, 非食用の植物性・動物性原料: 半製品を含む食用油脂を除く	2, 3, 4, 5
III. 飼育用の家畜	9
IV. 食品生産原料を含む食品: たばこを除き食用油脂を含む	0, 1
V. 食品以外の消費財: 半製品および直接的消費を目的としない製品を除く	6, 8

(注2) Академия Наук СССР, 前掲書, 241ページ。

(注3) UN, *Preliminary Key between the SITC, R and the Commodity Classification of the CMEA*, ニューヨーク, 1965年 (アジア経済研究所『コメコン統一貿易商品分類』統計資料シリーズNo.4 1973年)。

(注4) UN; ECE, *Correspondence Table between the Standard International Trade Classification of the United Nations (SITC) and the Standard Foreign Trade Classification of the Council for Mutual Economic Assistance (SFTC)*, ニューヨーク, 1982年。

おわりに

100カ国近くの国々が加盟する 関税協力理事会

は, 15年がかりで作成した統一商品品目表 (HS) を1988年1月1日以降導入することを決定している。この品目表は, 関税品目表であるが, これまで独自の関税品目表を採用していたアメリカ, カナダを含めた先進国の多くがこのシステムを採用することを決定している。さらに, チェコスロバキア, ユーゴスラビアも採用を決定しており, ソ連邦も関心を持っているという。もしソ連邦を含む東側諸国がこの分類を採用することになれば, 世界貿易の9割が統一基準で作成されることになり, 品目分類の違いから生じる国際比較の困難性は解消されるだろう。しかしながら貿易制度の違いから生じる問題点を克服することなしには, 信頼に足る国際比較を統計上行なうことは依然として困難であろう。

(アジア経済研究所統計調査部)

〔付記〕 本稿はアジア経済研究所の1987年度研究会「コメコン諸国の貿易統計体系」の成果の一部である。

研究ノート

付表1 『コメコン加盟諸国の外国貿易統一商品
品目表』第4版

大区分	中区分	小区分	名称		
1			機械、設備および輸送手段		164
	10		金属加工設備		165
		100	金属切削機械		166
		101	プレス		167
		102	ハンマー	17	169
		103	その他の鍛造・プレス設備		
		104	金属加工設備ライン	170	
		105	金属加工工業企業設備	171	
		109*	その他の金属加工設備	172	
	11		動力設備および電気技術設備		
		110	動力設備	173	
		111	電気技術設備	174	
		112	電極製品	175	
		113	ケーブルおよび電線	176	
	12		鉱山・冶金・石油設備	177	
		120	有用鉱物採鉱用の地下掘削・露天掘用設備	178	
		121	粉碎・選鉱設備	179	
		122	コークス設備およびガス工業用設備	18	
		123	冶金設備	180	
		127	石油加工工業設備	181	
		128	掘削・油井開発・地質調査用の機械・設備・装置	182	
		129	その他の鉱山・冶金・石油設備	19	
	13		揚荷・運搬設備	190	
		130	クレーン	191	
		131	鉱石投入機および苗植機	192	
		132	ウインチ	193	
		133	揚荷機械	195	
		134	野外用の無軌道運搬設備	199	
		139	その他の揚荷・運搬設備	2	
	14		食品工業および軽工業設備	20	
		140	食品工業設備	200	
		142	冷蔵設備および空気調和設備	201	
		143	たばこ工業設備	202	
		144	織物工業用設備	204	
		145	裁縫工業用設備	209	
		146	皮革・履物・毛皮工業用設備	21	
		149	軽工業用のその他の設備	210	
	15		化学工業、製紙工業、建設工業およびその他の工業分野の設備（特に例示したものを除く）	22	
		150	化学工業設備	220	
		151	林業・紙パルプ工業・木材加工工業用設備、木材加工用機械を除く	221	
		152	木材加工用機械	222	
		153	建設資材工業設備	223	
		154	道路・道路建設用設備および機械	224	
		155	ポンプ・コンプレッサー設備	225	
		156	公共設備、商業設備、消防設備	226	
		157	印刷工業設備	227	
		158	通信設備	228	
		159	その他の工業部門設備、特に例示したものを除く	229	
	16		建物、技術施設、公共交通・施設	23	
		161	工業用の建物・施設	230	
		162	農業・林業用の施設	231	
		163	住宅および総合住宅		
			学術・教育・大衆文化・衣料・商業・その他の公共機関用の施設		
			交通施設、水路を除く		
			水力工学施設および水利施設		
			パイプライン		
			その他の建物、技術施設、公共交通・施設		
			計器、実験用・医療用設備、軸受け、工具、研磨用材		
			電気測定器および無線測定器		
			物理実験用機器、光学機器・装置、時間測定器		
			医療設備・器具、化学・製薬工業設備を除く		
			軸受け		
			工具		
			人工のダイヤモンド、ルビー、その他の宝石		
			硬合金および研磨材		
			電子計算・組織工学用装置		
			技術プロセスの制御・調整機器、実験設備		
			大きさを機械的に測定するための機器		
			トラクター、農業機械・設備および用具		
			トラクターおよびそのガレージ設備		
			農業機械・設備		
			小規模農機具		
			交通手段およびその補助設備		
			鉄道車両および補助設備		
			貨物自動車およびガレージ設備		
			船舶、船舶設備、沈没船引揚設備、潜水設備、港湾設備		
			航空機		
			乗用自動車、オートバイ、スクーター		
			その他の交通手段		
			燃料、鉱物原料、金属		
			固形燃料		
			石炭（溶剤を混ぜたものを含む）および無煙炭		
			石炭コークス		
			褐炭		
			褐炭コークスおよび半コークス		
			その他の固形燃料		
			原油		
			原油		
			石油製品、合成液体燃料		
			ガソリン		
			航空燃料成分、エタノールおよび制御燃料		
			リグロイン		
			燈油およびジェット燃料		
			ディーゼル燃料		
			重油精製後の残油		
			潤滑油		
			グリース		
			オイル添加剤		
			その他の石油製品		
			燃料ガス、電力、蒸気および水		
			燃料ガス		
			電力		

	232	蒸気	34	肥料および農害虫駆除剤
	233	水	340	燐肥料
24		金属鉱石・精鉱	341	カリ肥料
	240	鉄鉱石	342	窒素肥料
	241	非鉄金属鉱石	345	混合肥料
	242	非鉄金属精鉱	346	天然(有機)肥料
	243*	非鉄金属中間製品	348	農害虫駆除剤
	249	その他の金属鉱石	35	生ゴム、ゴム製品およびゴム・石綿製品
25		非金属鉱物、粘土、土	350	生ゴム
	250	非金属鉱物	351	タイヤケース、インナーチューブ、およびタイヤフラップ
	251	粘土	352	コンベアーベルトおよび伝導ベルト
	252	非金属鉱石	353	ゴムホース
	259	その他の非金属鉱物	354	ゴム板およびシート
26		鉄	355	ゴム・石綿製品および補強布
	260	銑鉄および銑鉄製品	359	絶縁製品およびその他のゴム製品
	261	合金鉄	36	同位元素および非晶質化学製品
	262	鉄の破片・屑	360	同位元素製品
	263	鑄のインゴット	361	非晶質化学製品
	264	圧延鉄製品	4	建設資材および部品
	265	普通および上質圧延製品の二次加工製品	40	建設資材
	266	パイプ	400	接合材
	267	ボンベ	401	板ガラス
	268	金属製品	402	屋根材
	269	その他の鉄製品	403	外壁および内装材
27		非鉄金属	404	耐火材
	270	非鉄金属および合金	405	絶縁材
	271	非鉄金属の破片・屑	409	その他の建設資材
	272	非鉄金属の圧延製品	41	標準家屋、集合・組立式建物および住居、仮建物建築部品
	273	非鉄金属製品	410	標準家屋、集合・組立式建物および住居
28		生産的性格の貴金属およびその製品	411	標準仮建物
	280	貴金属	412	木製・あし製の建築部品
	281	貴金属製品	413	諸設備および部品、建築用衛生設備
3		化学製品、肥料、生ゴム	414	金属製の建築部品
30		化学製品	415	プラスチック製の建築部品
	300	有機酸および無機酸	416	ガラス・陶土製の建築部品
	301	ソーダ製品およびその他のアルカリ類	419	その他素材の建築部品
	302	有機・無機酸の塩類	42	金属製倉庫、構造物およびタビング
	303	コークス・石油化学工業製品	420	金属製倉庫およびガレージ
	304	プラスチックおよびプラスチック製造用原料	421	金属製・鉄筋コンクリート製の構造物およびタビング
	305	アルコールおよびアルデヒド	5	原料およびその加工製品(食用ではないもの)、すでに例示されたものを除く
	306	木材化学工業製品	50	木材およびセルロース・紙製品
	307	アニリン染料工業用半製品	500	丸太材
	308	無機の酸化物、一酸化物、過酸化物および水酸化物	501	製材
	309	その他の化学製品	502	合板および指物板
31		染料、塗料およびなめし剤	503	工業用木製品
	310	有機染料、合成染料および天然インデゴ染料	504	こるくがしの樹皮、チップおよびその製品
	311	塗料	505	木材パルプおよびセルロース
	312	植物性のなめし剤および染料	506	紙
	313	天然・人工なめし剤エキス	507	板紙
	319*	その他の染料、塗料およびなめし剤	508	工業用紙・板紙製品
32		爆薬および花火製品	509	その他の木材(種々のあしを含む)
	320	爆薬	51	織物原料および半製品
	321	花火製品	510	植物繊維
33		映画・写真用材料		
	330	映画フィルム用ベース		
	331	映画・写真フィルム		
	332	写真用乾板、印画紙、写真・映画用化学製品		
	339	その他の映画・写真用材料		

研究ノ一ト

	511	羊毛		71	生きてゐる動物(屠殺用)
	512	天然絹		710	肉用家畜(屠殺用)
	513	人造紡績原料		711	生きてゐる鳥(屠殺用)
	514	天然原料・化学的原料製の半製品		72	油の取れる種子および果実、たばこ(原料)、その他の食料品原料
52		獣皮および毛皮原料(完成毛皮製品を除く)		720	工業用の採油種子・果実
	520	獣皮・毛皮原料		721	コーヒー、ココア、茶
	521	加工天然獣皮(染色してないもの)		722	香辛料
	522	加工天然獣皮(染色してあるもの)		723	砂糖原料および澱粉・糖蜜工業製品
	523	獣皮・毛皮の半製品		724	海洋ほ乳類および魚の脂・肉
53		生皮および皮革		725	マーガリン製品
	530	生皮		726	たばこ(原料)
	531	加工・半加工の皮革	8	729	その他の食料品原料
55		種子および栽培用材料		80	食料品
	550	穀物・ひきわり麦・豆科植物の種子			肉製品および乳製品、動物脂、卵
	551	採油植物の種子		800	肉および肉製品
	552	精油植物および工芸作物の種子		801	動物性食用脂(牛酪を含む)
	553	野菜の種子		802	乳および乳製品(牛酪を除く)
	554	飼草の種子		803	卵およびその加工製品
	559	その他の種子および栽培用材料		81	魚および魚製品
56		精油、外国産の樹脂、医療用・医薬品工業用原料		810	生魚および冷凍魚
	560	精油および天然香料		811	塩漬魚
	561	合成香料		812	くん製魚
	562	外国産の樹脂		813	魚缶詰
	563	医療用・医薬品工業用原料		814	その他の方法で加工された魚
57		工業用油脂		815	甲殻類の缶詰
	570	工業用動物脂		816	魚卵
	571	工業用魚脂		817	ちょうざめの背骨の干物
	572	工業用植物油		818	海産物およびその缶詰
	573	工業用のその他の油および蠟		819	その他の漁業製品
58		濃厚飼料および大容量飼料		82	製粉製品および豆類
	580	油粕および粗びきの穀物飼料		820	製粉製品
	581	製粉工業の廃物		821	豆類
	582	大容量飼料		822	パン製品
	583	飼料用の蛋白質酵母		83	野菜、果物およびしょう果
	584*	鉱物性飼料		830	野菜およびじゃがいも
	589	その他の飼料		831	うり科植物
59		既述グループに入らない、原材料		832	生野菜・しょう果
	590	剛毛、獣毛、その他の動物性原料		833	乾燥果物・しょう果
	591	代用皮革、人工ガットおよびその他の人工原料		834	果物・しょう果の加工品
	592	ロープ、魚網、機械・装置用の布およびその他の材料		835	ナッツおよびアーモンド
	599	その他の原材料		836	冷凍の果物・しょう果
6		生きてゐる動物		837	酢漬けの果物・しょう果
	60	生きてゐる動物		838	きのこ
	600	役畜		839*	アルコール漬けの果物・しょう果
	601	種畜		84	砂糖、植物油、その他の食料品
	602	小角家畜		840	砂糖および菓子製品
	604	生きてゐる鳥および種鳥の卵		841	植物性食用油
	605	魚卵および生きてゐる魚		842	その他の食用脂
	606	種畜の精液		849	その他の食料品
	609	その他の生きてゐる動物		85	飲物およびたばこ製品
7		食料品製造用原料		850	アルコール・ウオッカ製品および非アルコール飲料
	70	穀物(ひきわりのものを含む)		851	たばこ製品
	700	穀物(ひきわりのものを除く)	9	90	国民消費用の工業製品
	701	ひきわり穀物		900	木綿・毛・その他素材の織物(人工素材を除く)
	709	その他の穀物作物		901	綿織物および綿風織物
				902	毛織物および毛風織物
				902	絹織物および絹風織物、合成繊維織物を含む
				903	亜麻織物および亜麻風織物
				904	じゅうたん織製品

	905	その他の紡績素材製製品
	907	スフ織物
	909	その他の織物
91		衣類および下着
	910	外套および上衣（皮・毛皮製を除く）
	911	皮および代用皮革製衣類
	912	毛皮衣類
	913	上下S下着（メリヤス製品を除く）
	914	上下のメリヤス製品
	915	テーブルクロス、シーツ、タオル
	916	長・短の靴下製品
	917	かぶりもの
	919	その他の衣類および下着
92		小間物品
	920	織物の小間物
	921	絹レースおよび絹レース製品
	922	金属製小間物
	923	天然皮革・人工皮革製小間物
	924	プラスチック製小間物
	929	その他の小間物品
93		皮・ゴム・その他素材の履物
	930	皮製履物
	931	ゴム製履物
	932	布製履物および組合せ素材の履物
	939	その他の履物
94		家庭用容器、食器
	940	金属製容器
	941	陶磁製容器
	942	ガラス容器
	943	食器
	949	その他の容器
95		家具
	950	家具
96		医薬品、保健・衛生具、香水・化粧品およびビタミン
	960	麻酔剤
	961	生物学的薬剤
	962	その他の医薬品
	963	医療品およびゴム製品
	964	保健・衛生具
	965	石鹸および香水・化粧品
	966	薬の容器
	967	ビタミン
97		日用文化用品
	970	家庭用機械・器具
	971	電気製品
	972	その他の家庭用日用品
	973	紙製品
	974	印刷物
	975	楽器および付属品
	976	スポーツ・狩猟・キャンプ用品および付属品
	977	手工芸品および玩具
	978	映画フィルム、スライドフィルム、スライドおよび文化・科学・技術作品の記録を含むその他の製品
98		既述のグループに入らない国民消費用の工業製品
	980	製図用具および事務用品
	981	貴金属製品、宝石、こはく
	984	骨董品（古物）
	985*	家庭用無線電子機器

989 国民消費用のその他の工業製品

（出所）第3表と同じ。

（注）*第4版で新たに付加されたコード。

付表2 コメコン加盟諸国の国民経済部門分類

大区分	中区分	小区分	名称
01			工業
	01		電力・熱エネルギー工業
	02		燃料工業
		01	石炭工業
		02	コークスおよびコークス製品製造業
		03	石油採油工業
		04	石油加工工業
		05	ガス採取工業
		06	人工ガス工業
		07	その他の燃料鉱物採鉱
	03		鉄鋼業（鉱石採鉱を含む）
		01	鉄金属採鉱・選鉱
		02	製鉄工業
	04		非鉄金属冶金工業（鉱石採鉱を含む）
		01	非鉄金属鉱石の採鉱・選鉱
		02	非鉄金属冶金工業
	05		機械製造工業（電気技術・電子工業、金属構造物およびその他の金属製品を除く）
		01	動力機械製造工業
		02	金属加工機械および鍛造・プレス機械工業
		03	精密工業
		04	自動車工業
		05	機械・工学設備および工業用装置製造業
		06	建設および道路作業用機械・設備工業
		07	農業および林業用のトラクター、機械および設備工業
		08	鉄道貨車、水上・航空輸送手段工業
		09	その他の機械・設備工業
		10	ベアリング工業
	06		電気技術工業および電子工業
		01	電気技術工業
		02	電気技術計測器、自動化および計算工学装置工業
		03	電子工業
	07		金属構造物およびその他の金属製品工業
	08		化学工業およびゴム・アスベスト工業
		01	化学工業用の鉱物原料採鉱
		02	無機基礎化学工業
		03	有機基礎化学工業
		04	化学肥料工業
		05	化学（合成・人工）繊維工業
		06	合成ゴムおよび基礎高分子製品工業
		07	染料、色素、塗料、ペイント工業
		08	石鹸製造業、洗剤・香水化粧品工業
		09	医療品および薬剤工業

15 行政
16 非生産的領域のその他の部門
(出所) UN, *Correspondence Table between the International Standard Industrial Classification of All Economic Activities of the United Nations (ISIC) and the Classification of Branches of the National Economy of the Council for Mutual Economic Assistance (CBNE)*, ニューヨーク, 1985年。

付表3 国際標準産業分類

区分	名 称
1	農業, 狩猟, 林業および漁業
11	農業および狩猟
111	農業および畜産
112	農業サービス
113	狩猟, わな猟および狩猟動物繁殖
12	林業および伐採業
121	林業
122	伐採業
13	漁業
2	鉱業, 採石業を含む
21	採炭
22	石油および天然ガス産出
23	金属鉱石採掘
29	他に分類されない鉱業および採石業
3	製造業
31	食品製造, 飲料製造, たばこ工業
311	食品製造
~312	飲料製造
313	たばこ製造
32	織物製品, 衣類およびはきもの, 皮革および皮革製品
321	織物工業
322	衣類製造, はきものを除く
323	皮革, 皮革製品, 皮革・毛皮代用品製造, 衣類およびはきものを除く
324	はきもの製造, 加硫ゴムおよびプラスチック製のはきものを除く
33	木材加工工業, 家具工業を含む
331	木製および木質・コルク製品製造, 家具を除く
332	家具および備品製造, 主として金属製のものを除く
34	紙および紙製品: 印刷工業および出版業
341	紙および紙製品
342	印刷, 出版および関連工業
35	化学製品, ゴム製品, プラスチック材および石油・石炭製品
351	化学工業
352	その他の化学製品製造
353	石油精製所
354	石油・石炭製の雑多な製品
355	ゴム製品製造
356	他に分類されないプラスチック製品
36	非金属鉱物製品製造, 石油・石炭製品を除く
361	陶器, 磁器および粘土製品製造
362	ガラスおよびガラス製品製造業
369	他に分類されない非金属鉱物製品製造
37	冶金工業

371	鉄鋼業
372	非鉄金属冶金工業
38	組立金属製品, 機械および設備製造
381	組立金属製品製造, 機械および設備を除く
382	機械製造, 電気機械を除く
383	電気機械, 装置, 器具およびその他の電気製品製造
384	輸送設備製造
385	他に分類されない職業・科学, 測定・制御設備製造および写真および工芸品製造
39	その他の製造業
4	電気, ガスおよび水
41	電気, ガスおよび蒸気
42	水道事業
5	建設
6	卸売・小売業, 貯蔵・倉庫業, レストランおよびホテル
61	卸売業
62	小売業
63	レストランおよびホテル
631	レストラン, 喫茶店およびその他の飲食店
632	ホテル, 下宿屋, キャンプおよびその他の宿泊施設
7	輸送, 貯蔵・倉庫業および通信
71	輸送, 貯蔵・倉庫業
711	陸上輸送業
712	水上輸送業
713	航空輸送業
719	輸送関連サービス
72	通信
8	金融, 保険, 不動産および事業サービス
81	金融機関
82	保険
83	不動産および事業サービス
831	不動産
832	事業サービス, 機械レンタル・リースを除く
833	機械レンタル・リース
9	公共社会および個人サービス
91	公共行政および防衛
92	衛生および類似のサービス
93	社会的サービスおよびそれに関連する公共サービス
931	教育サービス
932	学術研究機関
933	医療, 歯科およびその他の健康サービスおよび獣医サービス
934	社会福祉・サービス機関
935	事業, 職業および労働団体
939	その他の社会的サービスおよびこれに関連する公共サービス
94	文化・福祉サービス
941	映画およびその他の興行サービス
942	図書館, 博物館, 植物園, 動物園および他に分類されないその他の文化サービス
949	どの分類にも属さない娯楽, レクリエーションサービス
95	個人・家庭サービス
951	どの分類にも属さない修理サービス
952	洗濯屋, 洗濯サービスおよびクリーニング・染色施設
953	家庭サービス
959	雑多な個人サービス
96	国際機関およびその他の在外機関
0	正確に表現できない種々の活動

(出所) 付表2と同じ。